

学習指導案

●月●日 00:00~00:00 [講義]30分

00:00~00:00 [演習]50分

場所 [●●●中学校] 授業者名 []

1. 授業テーマ

“助けられる側から助ける側へ” 中学生にできること

2. 学習者

●●●中学校全校生徒（講義）、●年生（体験）
（講義については全校生徒を対象とし、体験については●年生のみ）

3. 教材

映像資料「助け合う防災教育」、「幸せはこぼろ」、防災カードゲーム「クロスロード」等

※教材については 03-6822-9900(災害救援ボランティア推進委員会/宮崎)までお問合せ下さい。

4. 指導

講義では東日本大震災等の過去の事例や中学生の行動、ボランティア活動例等を写真・映像で示すことで自分にできることを考えられるようにする。体験では、カードゲームを用いて分かりやすく災害時の判断や自分なりの考えを示すことができるようにする。

5. 学習目標

- ・災害時に中学生（自分）にできる（できそうな）ことを、その理由も含めて述べることができる。
- ・災害時を想定した問題を見て、状況を読み取り、自分なりの判断を示すことができる。

6. 指導過程

時配	学習内容と活動	指導上の留意点・評価
0-5m 講義	導入・関心 ・自分に引き寄せて考えられるよう、漫画等を引き合いにして学習目標を提示する	○生徒が関心を持てるよう身近な話題を導入に取り入れる ○学習目標を正しく理解させる
5m-25m 講義	展開・思考（講義まとめ） ・過去の事例等で中学生、ボランティアにできることを理解する ・自分に置き換えてできることを考える	○災害は特別な技能を持った人だけが対応するのではないことを理解させる ○2年生・3年生はこの時点で終了しワークシートで成果を評価する
0m-50m 演習	実践・全体まとめ ・災害時を想定した設問を示し、グループに分かれた後、各自で判断を考える ・なぜその判断にしたかを発表し合う	○災害時には、自分自身で速やかな判断をしなければならないこともあることに気付く ○実際に決断をして、理由も述べる ○ワークシートで成果を評価する